

バイオシミラー使用促進のための 啓発について

令和7年9月 薬務課監視係

バイオシミラー啓発資材の作成について（令和6年度）

○事業概要

福岡県医療費適正化計画（第4期）において新たにバイオ後続品（バイオシミラー）の普及率に関する数値目標を設定したところであるが、本県の普及率は低く、目標達成に向けたさらなる置き換えが必要。また、令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の結果から、患者におけるバイオシミラーの認知度の低さが伺える。

ついては、患者・一般の方を対象とし、バイオシミラーに関する正しい知識及び使用によるメリットをわかりやすく伝えることで理解及び関心を深め、使用促進に資することを目的とした啓発資材（ポスター及びリーフレット）を制作した。

○作成方法

- ・公募型プロポーザル方式で実施
- ・審査は、福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会委員 及び
福岡県職員（保健医療介護部薬務課職員（課長補佐級以上）ほか）にて実施。

バイオシミラー啓発資材の作成について（令和6年度）

○配布予定先について

作成したポスター及びリーフレットの配布予定先は以下のとおり。

印刷のうえ、令和7年度中に発送済。

（1）県内医療機関（病院・診療所）：各ポスター1部、リーフレット5部

待合室等での掲示及び配布を想定

（2）県内薬局：各局ポスター1部、リーフレット25部

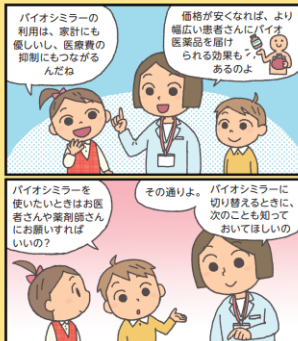
薬局にて掲示及び配布を想定

（3）その他（関係団体等）

- ・福岡県医師会、福岡県薬剤師会、地域薬剤師会、福岡県病院薬剤師会へ一定数配布するとともに、周知への協力をお願いすることを想定
- ・行政機関（福岡県庁薬務課等）にて掲示

福岡県版巻三つ折りリーフレット

バイオシミラーの利用で 知っておきたいこと



バイオシミラーで 知っておきたいこと

自己負担額は必ずしも下がる場合があります

バイオ医薬品を使用されている方で、高額療養費制度や子ども医療費助成制度などをご利用の場合、バイオシミラーに変更しても、自己負担額は必ずしも下がらない場合があります。しかし、バイオシミラーを選択することで、医療保険制度を未来につなぐことができます。より幅広いバイオ医薬品を届けられるなどのメリットがあります。ぜひバイオシミラーの利用をご検討ください。

バイオシミラーも「医薬品副作用被害救済制度」の対象です

バイオシミラーは厳密な審査により、先行バイオ医薬品と副作用の種類や頻度が同等か確認されており、副作用が発生した場合に備えた救済制度である「医薬品副作用被害救済制度」の対象となっています。

お薬の使用方法や
取り扱い方などに関する問合せ先

くすりなんでもテレホン（公益社団法人
福岡県薬剤師会薬事情報センター）

電話：092-271-1585

受付時間 月～金 9:00～17:30 土 9:00～12:00

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
くすり相談窓口

電話：03-3506-9425

受付時間 月～金（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:00

バイオシミラーに関する
より詳しい情報を知りたい人は、
以下をご覧ください。

厚生労働省
ジェネリック医薬品及び
バイオシミラーの使用促進について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuni/suite/bunya/kenkou_iryuu/iryou/kouhatsu-iyaku/index.html



福岡県薬務課
ジェネリック医薬品・
バイオシミラー広報資料ページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/generic-sankoshiryo.html>



バイオシミラーに関心がある方は、
医師・薬剤師にご相談ください。

選んでお得！

バイオ シミラー ってなに？

知っておきたいバイオ医薬品と
バイオシミラーのこと



近年、新しい製法で作られた
あるバイオ医薬品が次々
一方で、その高価
なっています。その
バイオシミ



バイオシミラーってなに？



バイオ医薬品とバイオシミラー

治療困難だった病気
にも効果が期待



バイオ医薬品は、微生物や動物細胞などを利用して作る、ホルモンや酵素、抗体といったタンパク質を有効成分（治療効果がある成分）として製造したもので、今までの薬で十分に治せなかった病気にも効果が期待できる画期的な新薬です。世界中で開発が進んでおり、次々と新たなバイオ医薬品が誕生しています。

バイオ医薬品が
治療に使われる主な病気

- がん ●糖尿病 ●関節リウマチ ●乾癬
- 骨粗鬆症 ●潰瘍性大腸炎 ●クローン病
- 腎性貧血 など

高額なバイオ医薬品による
国民医療費への影響を心配

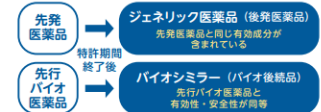
バイオ医薬品は従来の化学合成でできる薬と異なり、大規模な施設が必要だったり、開発・製造・管理が複雑だったりするため、非常に高価となる場合があります。バイオ医薬品の増加は、難治性の病気に苦しむ患者さんの希望となる一方で、国民医療費の高騰につながる可能性があります。

バイオ医薬品は効果が優れている反面、
非常に高価なため国民医療費への影響が心配されています



バイオ医薬品の後続品
「バイオシミラー」

特許の切れた薬にジェネリック医薬品があるように、バイオ医薬品にも「バイオシミラー」があります。バイオシミラーは有効性・安全性が先行バイオ医薬品と同等でありながら、価格が約70%と安く、患者さんやご家族の経済的負担の軽減や医療保険財政の改善に役立つお薬です。



厳密な審査で
有効性・安全性を確認

バイオ医薬品は複雑なタンパク質を有効成分とするため、バイオシミラーでまったく同じ構造を作成することは困難です。そこで、構造にわずかな違いがあっても、臨床試験や非臨床試験で有効性・安全性が先行バイオ医薬品と同等であることを確認し、厚生労働省の承認を得て発売されています。



先行バイオ医薬品と有効性・安全性が
同等でありながら、安価な
後続品のお薬がバイオシミラーです

バイオシミラーに関する留意点

先行バイオ医薬品の特許が切れていない場合や、複数の効能・効果を持っていて一部の適応症で特許が満了していない場合は、対応するバイオシミラーが開発されていないことや、バイオシミラーで全ての効能・効果が承認されていないことがあります。

選んでお得！ バイオシミラーってなに？

知っておきたいバイオ医薬品とバイオシミラーのこと

近年、新しい製法で作られた画期的な新薬であるバイオ医薬品が次々と登場しています。

一方で、その高額な薬代が問題となってきました。その解決策の一つがバイオシミラーです。

バイオ医薬品とは？

バイオ医薬品は、生物の細胞などを使って作る、タンパク質を有効成分とするもので、今まで治療が困難だった病気にも効果が期待される、画期的な新薬です。

バイオ医薬品が治療に使われる主な病気

- がん ●糖尿病 ●関節リウマチ ●骨粗鬆症 ●潰瘍性大腸炎 など

バイオ医薬品の後続品「バイオシミラー」

特許の切れた薬に「ジェネリック医薬品」があるように、バイオ医薬品にも「バイオシミラー」があります。バイオシミラーは有効性・安全性が先行バイオ医薬品と同等でありながら、価格が約70%と安く、患者さんや家族の経済的負担の軽減や医療保険財政の改善に役立つ薬です。

先行バイオ医薬品	特許期間終了後	ジェネリック医薬品（後発医薬品）	バイオシミラー（バイオ後続品）
先行バイオ医薬品	特許期間終了後	ジェネリック医薬品（後発医薬品）	バイオシミラー（バイオ後続品）
有効性・安全性が同等	有効性・安全性が同等	有効性・安全性が同等	有効性・安全性が同等

バイオシミラーはジェネリック医薬品よりも多くの試験が必要であり、有効性・安全性が先行バイオ医薬品と同等であることを確認し、厚生労働省の承認を得て発売されています。

バイオシミラーについてわかる！
簡単3分動画が見られます



ジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する参考資料について

更新日：2025年2月28日更新

これまでに作成したジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する参考資料

福岡県では、これまで、ジェネリック医薬品（後発医薬品）やバイオシミラー（バイオ後続品）の使用を促進するため、福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会を設置し、様々な啓発資料等の参考資料を作成し、公表しております。

バイオシミラー（バイオ後続品）に関すること

・福岡県バイオシミラー啓発資料（ポスター、リーフレット）

バイオシミラーの使用促進を図るため、医療機関・薬局にて御活用いただける啓発資料（患者・一般の方向け）を作成しました。ポスター・リーフレットについては、各医療機関及び薬局にてダウンロードの上、御活用ください。

[バイオシミラー啓発資料、ポスター（B3サイズ）【PDFファイル／953KB】](#)
[バイオシミラー啓発資料、リーフレット（A4サイズ）【PDFファイル／2.24MB】](#)

・バイオシミラー啓発資料（動画）

バイオシミラー啓発資料の内容を元に、3分程度にまとめた動画を作成しました。以下のリンク又はポスター中の二次元コードからも動画ページにアクセスできます。

[バイオシミラー啓発動画：バイオシミラーってなに？（外部サイトへのリンク）](#)

選んでお得！

バイオシミラーってなに？

知っておきたいバイオ医薬品とバイオシミラーのこと

令和7年度バイオシミラーに係る啓発について

令和7年度の当事業について

- 今年度も資料を活用し、追加送付が必要な医療機関、団体等に対して送付することとしたい。
- 医療機関訪問同行等を通じ、好事例を収集、啓発活動の参考としたい。
- 医療機関向け啓発（講習会等）を実施したい。